



TITLE:

# 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報索引ほか No. 1-7

AUTHOR(S):

CITATION:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報索引ほか No. 1-7. 京都大学  
瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 1953, 1-7

ISSUE DATE:

1953-04-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/186875>

RIGHT:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会

# 水族館月報

1. 9 5 2

(Nos. 1—7)

## 目 次

9月号 .....	1
10月号 .....	4
11月号 .....	12
12月号 .....	19
1月号 .....	25
2月号 .....	30
3月号 .....	36
4月委員会議題(案) .....	42
1952年度資料 .....	46
年報 .....	53
水族館概況 .....	巻末
索引 .....	〃

以上の順序で印刷頁のみに頁数を記入して綴  
じて下さい。

# 京都大学瀬戸臨海実験所 附属水族館概況

## 1 水族館の構造

◎ 坪数 ----- 127坪

◎ 配置図 (別紙)

水槽 (メートル)	間口	×	奥行	×	深サ
No. 1—No. 21	2.9		0.75		0.3
No. 22	3.5		2.7		0.45
No. 23 バット水槽 20ヶ配列		長サ	4.6	幅	0.95
No. 24	長サ 3.4		幅 2.4		0.8
No. 25	2.0		0.7		0.25
No. 26—No. 28	1.7		1.2		0.4
No. 29	2.0		0.95		0.5
No. 30	2.5		0.75		1.1
No. 31, 32, 34, 35	2.5		0.75		1.1
No. 33	3.35		0.75		1.1
No. 36, 38	1.0		0.8		1.1
No. 37	5.4		0.8		1.1
屋外海亀水槽	長サ 9		幅 9.5		1.5
予備水槽	1.6		6.1		0.95

◎ 海面との距離 ----- 約 30メートル

- ◎ 海水タンク
  - \* 容量 ----- 300石
  - \* 底の高さ(海面より) ----- 約 70メートル
  - \* 取水箇所 ----- 直接海中より (B ポンプ)  
海中より土管にて海水を構内井戸に  
みだりききから揚水する (A ポンプ)
  - \* 揚水ポンプ ----- A 及び B ポンプ (南水槽室の地下室に動力 5HP 電動機  
6~7HP ディーゼル (停電時の補助機関))
  - \* 配水管 ----- 鉛管
  - \* 排水管 ----- 埋没 (これは蓋付の溝に改造の予定) 使用水は捨て去る開放式採用している。

## 2 水族館周辺の交通施設

実験所門前までバスの便あり。また晴天時には実験所岸に遊覧船をつけることが出来る

## 3 収入

- ① 観覧料金
 

大人 (中学生以上)	--20¥
小人 (小学生)	-----10¥
団体割引	
30-49人	10%
50-99人	15%
100-199人	20%
200人以上	25%
- ② 入場人員 (年間概況) --- 15~20万人 (学生 (小-中学生) は約40%)
- ③ 入場税 ----- 博物館法による免税につき交渉中
- ④ 年間収入 ----- 200~300万円
- ⑤ 他よりの補助、寄附金その他の附帯収入なし。

## 4 年間経費

- |                           |   |
|---------------------------|---|
| 使用人員                      | 学芸員 1名 (実験所員兼任)<br>技術員 3名 (中1名は実験所兼任) 採集、水槽維持<br>粗務員 1名 動力ポンプ維持<br>事務員 1名 水槽維持、清掃 |
| ① 人件費                     | 72万円  |
| ② 材料費 (魚類、その他飼料)          | 36万円  |
| ③ 備品費                     | 30万円  |
| ④ 修理費 (機械及び設備)            | 20万円  |
| ⑤ 光熱費 (電力代等)              | 10万円  |
| ⑥ 消耗品費 (切符、魚網、その他)        | 5万円   |
| ⑦ 畜所山熱帯植物園開放謝礼            | 50万円  |
| ⑧ 設備改善費                   | 20万円  |
| ⑨ 印刷物出版費 (海外交換用実験所出版物を含む) | 40万円  |
| ⑩ 保険料、諸税、借料等              | 10万円  |
| ⑪ 雑費                      | 2万円   |
|                           | 計 300万円   |

## 5 宣 伝

宣伝はすべて自浜町当局、町観光協会、明光バス株式会社の好意によってゐる。

## 6 水族館の内容

### ○ 水槽

アカウミガメ、タスマイ等の海亀をはじめ、附近で獲れる魚類、エビ、カニ類、その他の無脊椎動物と合して、常時約60種以上が飼育されている。その過半数は熱帯もしくは亜熱帯性のものである。魚類は大部分購入し、無脊椎動物は館員が採集している。

### ○ 標本陳列室

約10メートル長のクジラの組立骨格が中央に横たわっている。ほか、数多の造礁サンゴ骨格、貝類、魚類、その他の無脊椎動物の標本が陳列してある。

### ○ 番所山熱帯植物園

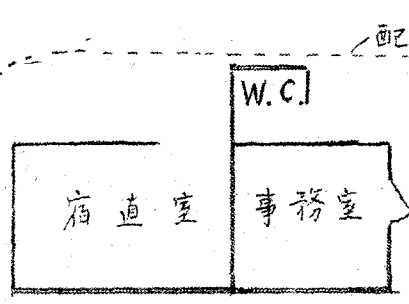
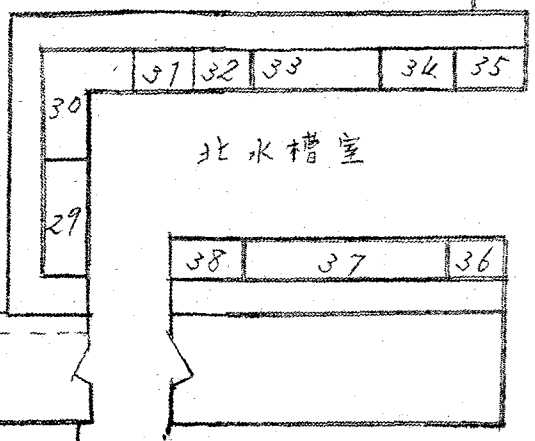
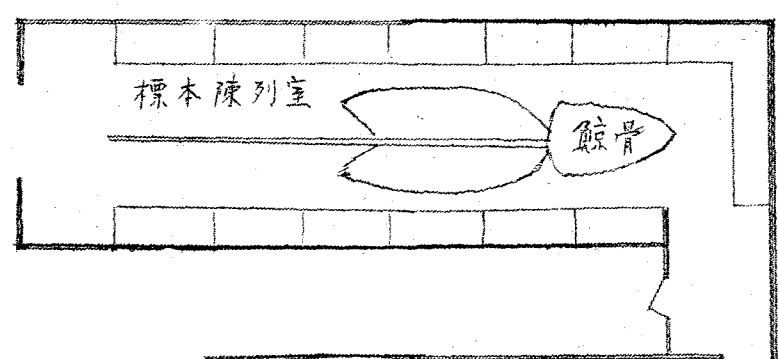
水族館に入場した者は隣接の植物園とそのまゝ無料で観覧することができる。

植物園にはカナリーヤシ、ワシントンヤシの大木がそびえていて、ほかイカダカヅラ、ゴムの木などが茂っていて、珍しい景観を呈している。園内には簡単な売店があり、また山上に歩を遅べば、附近の美景をほいほいに見ることが出来る。

1953. 1. 12 現在

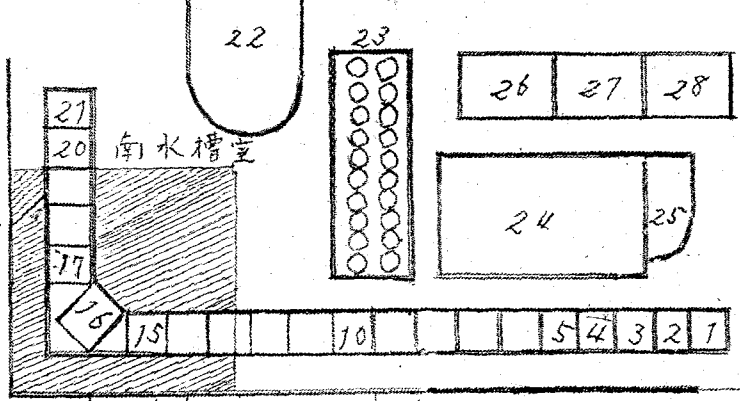


各所山熱帯植物園

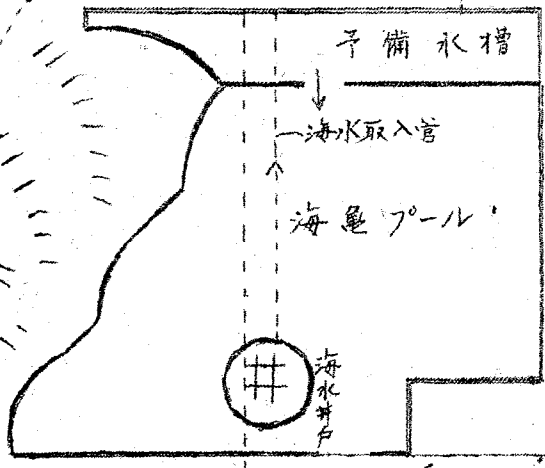


配水管

地下ホンプ室  
斜線は



切売場  
ベランダ



排水管

柵

排水管

柵

海水取入管

# 索 引

委員会(社/同)	4
委員会(社/同)	42
魚病	16, 24
業務分組	3
鯉魚	13, 19
貸付金の利用	27
水槽ヒーター	20

創立50周年記念式	4
ディーゼルエンジン	12, 19
電話	37
入場税	2, 9, 14, 28, 32, 39
防波堤工事	25
役員	34
予算(1952)	5

アイゴ	18
アオブタ	29
アオリイカ	8, 9, 15, 28
アオウミガメ	20, 25, 30, 37
アカウミガメ	23, 29, 34, 40
アサガサゴ	39
アメフラシ	34
アサメカサゴ	29
アリモウシ	29
イカ	23
イシダイ	30, 39
イセエビ	16
イトヒキアジ	3, 8, 16
ウスバカマキ	24
ウミウシ類	36
ウミスズメ	17, 24
ウメボシソギチヤ	34
エビスタイ	23, 29, 39
カイウミヒドラ	36
ゴンガゼモドキ	23
クロシタナシウミウシ	36
コウイカ	15, 28, 33
ゴシキエビ	16
コバンザメ	8, 9, 15, 23, 29, 33
コアセミエビ	40

ササエ	40
シオ	15
シロサメ	29
スギ	9
スジタルミ	9
セトミカサゴ	16
タイマイ	20, 37
アカアシガニ	30, 37, 40
チヨウセンバカマ	29
ツノダシ	3, 8, 16, 23
ツノヒラムシ	36
ツバメウオ	8, 16, 17, 24
ニシキエビ	16, 23, 29, 33, 34, 37
スノイトマキ	36
ハナオコゼ	8
ハナミカサゴ	16
ハリセンボン	16
ヒトエガイ	23, 34
ブリ	33
マメボヤ	31, 40
マツボウ	37, 40
ミノカサゴ	33, 40
ミナモト	36
モンガラカマハキ	33
ヨコタルミ	9